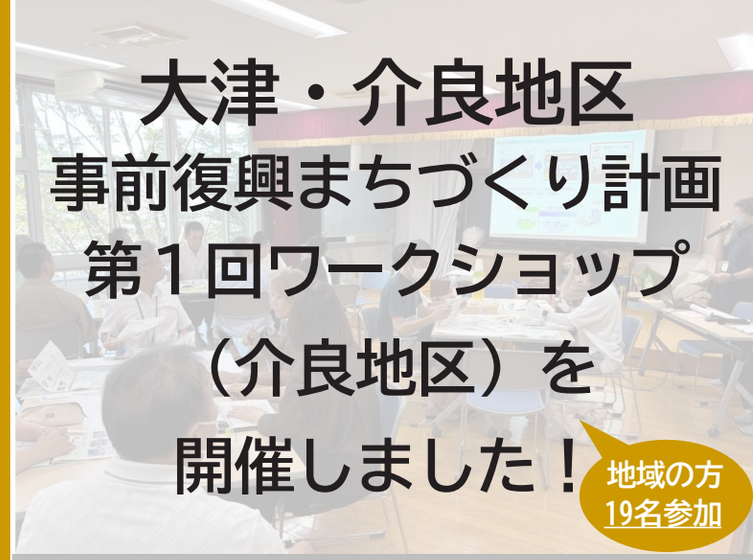
高知市 事前復興まちづくりニュース VOL.1

R８.10.２



大津・介良地区 事前復興まちづくり計画 第１回ワークショップ（介良地区）を開催しました！

地域の方 19名参加

ワーク１は２ページ、ワーク２は３ページ、
ワーク３は４ページに表示しております

８月22日（土）、介良ふれあいセンターにて、大津・介良地区事前復興まちづくり計画第１回ワークショップ（介良地区）を開催しました。ワーク1では**「介良地区の良いところ・残したいもの、困っていること」**、ワーク2では**「復興パターンについて」**、ワーク３では**「介良地区で住み続けたくなるような楽しい未来の姿」**について、みんなで話し合いました。

※掲載スペースの関係により、すべての意見を載せてはおりません。ご了承ください。

●ワークショップの内容（予定）

第１回 令和8年8月22日 開催

- 介良地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていることについて
- 復興パターン１案について
- 楽しくなるような未来のまちについて

第２回 令和9年1月頃 開催予定

- 修正復興パターン（最終案）について
- 目指すべき姿(案)について
- 速やかに復興するために必要なことについて
- 災害が起きる前からできることについて



事前復興まちづくり計画とは？

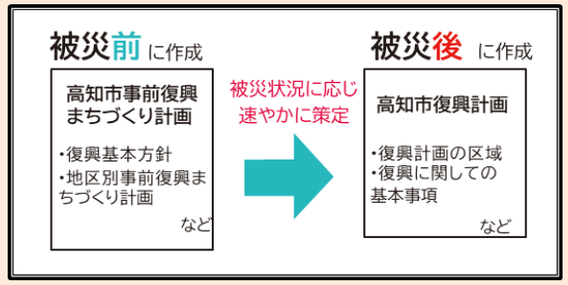
南海トラフ地震を想定し、被災前に復興まちづくりの目標や課題解決のための方策をとりまとめたものです。市で作った計画案を基に、地域の皆さんと一緒に作っていきます。

計画策定の効果

①早期の復旧・復興事業の着手により、街の復興を早める

②適切な基盤整備の規模で被災地を復興できる

③人口流出の抑制につながる



ワーク３ 介良地区の楽しくなるような未来のまちについて

地域コミュニティを強めたい
- 地元に子ども達が帰ってくるまちにしたい
- ふれあいセンターなど、コミュニティセンター等の地域が集まれる場所を充実させたい



災害に強いまちを作りたい
- 潮見台が高台にあるので、多くの人が避難してきた人が必要となる電力を何らかの方法で確保しておきたい
- 避難施設としても利用できるように、親水公園を整備してはどうか(ヘリポート等も整備)
- 高知市東部総合運動場の多目的グラウンドを避難できる場所にしてほしい
- 介良地区は水が豊富であるため、災害時に活用できるようにしたい(公園井戸等)



にぎわいのあるまちにしたい
- 若い世代が集まるまちにしたい
- 草刈り等が必要なく、維持管理がしやすい新たな大きい公園がほしい
- 県道の歩道にアーケードのようなひさしをつけてはどうか
- 高知市東部総合運動場の拡大に伴って子供たちが楽しめる芝生広場をつくってはどうか



交通の利便性を上げたい
- 交通の便を良くするため、地下鉄道等があったらいい
- 潮見台から介良中学校方面に抜ける道を整備してほしい
- 狭い道を広くしたい



今のまちを残したい
- 普段の生活(買物や移動手段等)が困らないまちにしたい
- 歴史ある街並みは残したい
- 介良川で泳げるなど、昔の古き良き地域を復活させたい

■お知らせ

（回答はこちらから⇒）

ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。

■お問い合わせ先

高知市　防災政策課　事前復興まちづくり担当
TEL：088-823-9055
FAX：088-823-9085
Mail：kc-080200@city.kochi.lg.jp

ワーク１　介良地区の良いところ・残したいもの、困っていることについて

●住まいと暮らしの再建

良いところ・残したいもの

・スーパー、病院、ホームセンターがある
・生活に困らない商業施設がある
・騒音が少ない
・介良丙には市民会館、児童館、保育園がある
・田園風景を残したい
・親水公園があって良い
・高知市東部総合運動場があって良い
・パワーセンターがあるので便利である
・介良地区は平坦な土地であるため、住みやすい



困っていること

・自動車がないと生活しづらい
・親水公園は定期的な草刈りが必要のため利用しづらい
・公共交通が少ないため、移動が不便である
・買い物に困る(潮見台)

●歴史・文化の保全と継承

良いところ・残したいもの

・山や田んぼなど自然に恵まれている
・古き歴史がわかる建物がある
・歴史ある街並みがある
・朝峯神社、薬師寺、祭りを残したい
・介良遺跡、史跡がある
・介良富士がある(小富士山)



●地域共生社会の実現

良いところ・残したいもの

・小学校・中学校を残したい
・近所との繋がりを残したい
・様々な地区活動・組合活動など、コミュニティは残したい



困っていること

・少子高齢化が進んでいる
・空き家が増加している
・地域のボランティアをする人が少ない

●安全安心なまちの再生

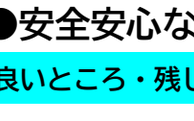
良いところ・残したいもの

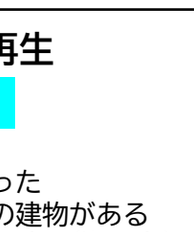
・県道が広がって便利になった
・津波から避難できる中層の建物がある
・見晴らしがよく、津波にも強い(潮見台)
・防災フェア、防災学習の日などを実施している



困っていること

・古い家の周辺は道が狭い
・史跡が山の近くにあるため、土砂災害の影響があるのではないか
・市営住宅が老朽化している
・元々、田畑を埋立て造成しているため、地盤が弱く液状化のリスクがある
・介良小学校から介良中学校体育館までの間が、街灯がないため危ない
・避難所や高いビルが少ない
・道が狭く、用水路も多いため危険である





●なりわいの再生



良いところ・残したいもの

・農業がしやすい土地である
・二耕作発祥の地である
・全国的にも収穫時期が早い米の産地である
・農業(ケライチゴ)を残したい

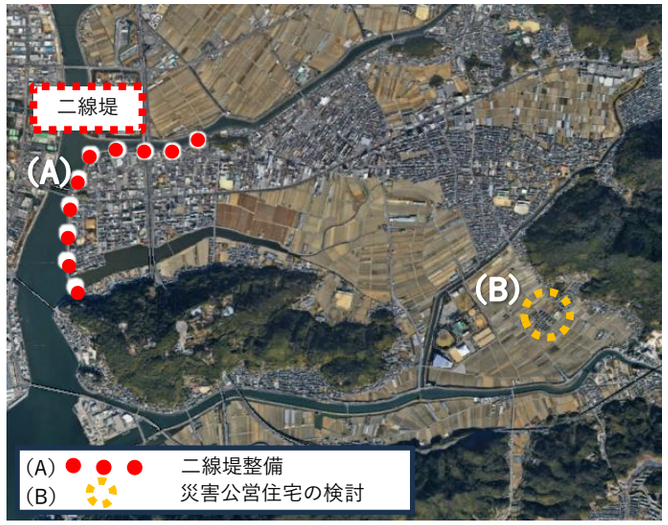
困っていること

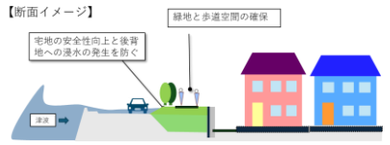
・海水流入による農地の復興に不安である
・農家が減少している

ワーク２　復興パターンについて

【第1案】二線堤形成案

●二線堤を整備することで、内陸の津波浸水を防ぐ案







出典:大熊町HP(大熊町大川原地区災害公営住宅)

こうしてほしいな

・高知市東部総合運動場の再編に合わせて住宅地も整備してはどうか
・(B)は土地が低く、液状化の可能性が高いため、嵩上げした上で公営住宅を整備する必要がある
・現地復興を希望する人が多いのではないか

ちょっと心配…

・二線堤ができることで、一宮地区方面に津波が流れるのではないか
・介良丙の住宅は、建築基準の観点から道路幅員が確保できないため、現地での建て直しは難しいのではないか
・下田川から介良地区に津波が溢れてくる可能性がいある

その他の意見

・液状化が心配である
・高台がない
・事前対策として、空き家対策は重要である

個人再建する場合

○ **早く再建に着手できる**
事業の合意形成を待つ必要がない

△ **土地の安全性は変わらない**
嵩上げ等を行わないため浸水リスクは残る



不安の声
個人再建できるか不安

主な選択肢
・新築で建て直す
・補修して住み続ける
・災害公営住宅に入居

活用できる支援制度
被災者生活再建支援金、災害復興住宅融資、災害援護資金、義援金など

●災害時危険な場所を考えよう

